

平成29年度 研究・調査企画会議 事後評価部会（第1回）

議事概要

1 日時：平成29年7月14日（金）10：00～14：50

2 場所：食品安全委員会中会議室

3 出席者（7名）五十音順

圓藤 陽子（圓藤労働衛生コンサルタント事務所所長）

岡部 信彦（川崎市健康安全研究所所長）

◎尾崎 博（東京大学名誉教授）

鬼武 一夫（日本生活協同組合連合会品質保証本部安全政策推進室室長）

眞鍋 昇（大阪国際大学教授（学長補佐））

村田 勝敬（秋田大学大学院医学系研究科教授）

四方田千佳子（神戸薬科大学特任教授）

（欠席者）

望月 眞弓（慶應義塾大学薬学部教授・慶應義塾大学病院薬剤部長）

（◎：座長）

その他、食品安全委員会から佐藤委員長ほか3名が、事務局から川島事務局長ほか9名が出席

4 議事概要

（1）平成28年度終了研究課題の事後評価（ヒアリング審査）

- 平成28年度で終了した以下①から⑥の研究課題の成果について事後評価を行うため、各課題の主任研究者に対しヒアリング審査を実施した。
- 各課題の評価所見(案)を、事務局が整理した上で、次回の事後評価部会で審議することとなった。

<事後評価対象課題>

- ①1301：ヒト型遺伝子改変マウスを用いた非定型BSEの人に対する感染リスクの定量的評価（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門：松浦裕一）
- ②1501：農薬の毒性評価における「毒性プロファイル」と「毒性発現量」の種差を考慮した毒性試験の新たな段階的評価手法の提言—イヌ慢性毒性試験とマウス発がん性試験の必要性について—（国立医薬品食品衛生研究所：小野敦）
- ③1504：家畜とヒトとの間における薬剤耐性菌の循環に関する分子疫学および時空間比較ゲノム解析（名古屋大学：荒川宜親）
- ④1505：食品に対する乳児期のアレルギー性反応獲得メカニズムと発症リスク

評価（徳島大学：木戸博）

⑤1506：食品ごとの「IgE抗体の作らせやすさ」を測定する系の樹立に関する研究（国立研究開発法人国立成育医療研究センター：斎藤博久）

⑥1507：食品由来のアクリルアミド摂取量の推定に関する研究（国立研究開発法人国立環境研究所：河原純子）

（2）その他

- 事務局から、今後の事後評価部会の開催スケジュールについて説明があった。

－以上－

（注：本部会は個別具体的な研究者や研究課題名及び研究の内容に言及して議論が行われることから、非公開で行った。このため、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するものである。）